

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和5年5月26日

京都府知事 殿

提出者



住 所 京都府久世郡久御山町森北大内 27

氏 名 西日本高速道路メンテナンス関西株式会社

京都事業所 工務課長 大槻 紀彦

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 075-633-5777

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和4年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事 業 場 の 名 称	西日本高速道路メンテナンス関西株式会社 京都事業所		
事 業 場 の 所 在 地	京都府久世郡久御山町森北大内 27		
事 業 の 種 類	06 総合工事業		
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間	令和4年4月1日～令和5年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	2,276.54 t	全 処 理 委 託 量	2,276.54 t
自 ら 再 生 利 用 を 行 う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 処 理 委 託 量	89.66 t
自 ら 热 回 収 を 行 う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	2,276.54 t
自 ら 中 間 処 理 に よ り 減 量 す る 产 業 廃 棄 物 の 量	t	認 定 热 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t
自 ら 埋 立 处 分 又 は 海 洋 投 棄 处 分 を 行 う 产 業 廃 棄 物 の 量	t	認 定 热 回 収 業 者 以 外 の 热 回 収 を 行 う 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t
※事務処理欄			

(日本産業規格 A列4番)

(産業廃棄物の種類：汚泥)

（单位：以

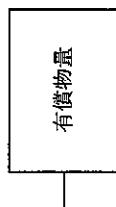
(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類: 汚泥)	
有償物量		不要物等発生量	
① 排出量	240.90	② 自ら直接再生利用した量	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
④ 自ら中間処理した量		⑤ ④のうち熱回収を行った量	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量
⑦ 自ら中間処理により減量した量		⑧ 自ら中間処理した後、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑨ 自ら中間処理した後、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
⑩ ⑨のうち再生利用を行つた量	240.90	⑪ 直接及び自ら中間処理した後の残さ量	⑫ ⑪のうち再生利用を行つた量
⑪ 全処理委託量	240.90	⑬ ⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑭ ⑬のうち熱回収認定業者以外の処理委託量
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.00	⑮ ⑪のうち優良認定業者への処理委託量	⑯ ⑮のうち熱回収を行つた量
⑬ 热回収認定業者への処理委託量	240.90	⑰ ⑯のうち熱回収を行つた量	0.00
⑭ 热回収認定業者以外の処理委託量	0.00		

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)

(単位:トン)



不要物等発生量

自ら直接
再生利用した量

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

自ら中間処理した後
再生利用した量

自ら中間処理した後
再生利用した量

排出量

自ら中間処理
した量

自ら中間処理した後
再生利用した量

自ら中間処理した後
再生利用した量

項目

実績値

自ら中間処理した後
再生利用した量

自ら中間処理した後
再生利用した量

①排出量

②自ら再生利用を行った量

③自ら熱回収を行った量

④自ら中間処理により減量した量

⑤自ら中間処理を行った量

⑥自ら熱回収を行った量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後
再生利用した量

⑨全処理委託量

⑩自ら再生利用業者への処理委託量

⑪自ら熱回収認定業者への処理委託量

⑫自ら熱回収認定業者以外の
熱回収を行う業者への処理委託量

30.92

0.00

0.00

0.00

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類: 木くず)	
項目	実績値	項目	実績値
①排出量	1,072.50	②自ら直接再生利用した量	③自ら直接埋立処分又は海上投入処分した量
④自ら中間処理した量	⑤自ら中間処理した後の残さ量	⑥自ら中間処理した後減量した量	⑦直接及び自ら中間処理した後の中間処理した量
⑧自ら中間処理した後再生利用した量	⑨自ら中間処理した後減量した量	⑩全処理委託量	⑪自ら中間処理した後再生利用した量
⑫⑬うち再生利用業者への処理委託量	⑭⑮うち熱回収認定業者への処理委託量	⑯⑰うち優良認定業者への処理委託量	⑱⑲うち優良認定業者への処理委託量
⑳⑳うち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑳⑳うち熱回収認定業者への処理委託量	⑳⑳うち熱回収認定業者への処理委託量	⑳⑳うち熱回収認定業者への処理委託量
⑳⑳うち熱回収認定業者への処理委託量	⑳⑳うち熱回収認定業者への処理委託量	⑳⑳うち熱回収認定業者への処理委託量	⑳⑳うち熱回収認定業者への処理委託量

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類: ガラス陶磁器等くず)	
項目	実績値	項目	実績値
①排出量	3.38	②自ら直接再生利用した量	
③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量		④自ら中間処理した量	
④自ら中間処理した後の中間処理による減量		⑤自ら中間処理により減量した量	
⑥自ら中間処理した後の中間処理による減量		⑦自ら中間処理により減量した量	
⑧自ら中間処理した後再生利用した量		⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	3.38	⑪優良認定業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	3.38	⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00		
有機物量		⑮のうち再生利用業者への処理委託量	3.38
不要物等発生量		⑯のうち熱回収認定業者への処理委託量	
		⑰のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
		⑱のうち優良認定業者への処理委託量	

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: コンクリート片)

(单位: ト)

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類：コンクリート片)	
項目	実績値	項目	実績値
①排出量	75.01	④自ら中間処理した量	⑥自ら直接再生利用を行った量
②不要物等発生量	②自ら直接再生利用した量	⑤⑧自ら熱回収を行った量	⑦自ら中間処理により減量した量
③有償物量	③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	⑨自ら中間処理した後の残さ量	⑩自ら中間処理した後自ら理立処分又は海洋投入処分した量
④自ら中間処理した量	④自ら中間処理した量	⑩⑪自ら中間処理した後自ら理立処分又は海洋投入処分した量	⑫⑬⑭自ら中間処理した後自ら理立処分又は海洋投入処分した量
⑤⑧自ら熱回収を行った量	⑤⑧自ら熱回収を行った量	⑪直接及び自ら中間処理した後の残さ量	⑮⑯⑰自ら熱回収認定業者への処理委託量
⑥自ら熱回収を行った量	⑥自ら熱回収を行った量	⑫自ら中間処理した後自ら理立処分又は海洋投入処分した量	⑯⑰自ら熱回収認定業者への処理委託量
⑦自ら中間処理により減量した量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑬直接及び自ら中間処理した後の残さ量	⑱自ら熱回収認定業者への処理委託量
⑨自ら中間処理した後の残さ量	⑨自ら中間処理した後の残さ量	⑭自ら中間処理した後自ら理立処分又は海洋投入処分した量	⑲自ら熱回収認定業者への処理委託量
⑩全処理委託量	75.01	⑪直接及び自ら中間処理した後の残さ量	⑳自ら熱回収認定業者への処理委託量
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00	⑫自ら中間処理した後自ら理立処分又は海洋投入処分した量	⑳自ら熱回収認定業者への処理委託量
⑫再生利用業者への処理委託量	75.01	⑬直接及び自ら中間処理した後の残さ量	⑳自ら熱回収認定業者への処理委託量
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00	⑭自ら中間処理した後自ら理立処分又は海洋投入処分した量	⑳自ら熱回収認定業者への処理委託量
⑭熱回収認定業者以外の処理委託量	0.00	⑮自ら中間処理した後自ら理立処分又は海洋投入処分した量	⑳自ら熱回収認定業者への処理委託量
⑮自ら中間処理した後自ら理立処分又は海洋投入処分した量	75.01	⑯自ら中間処理した後自ら理立処分又は海洋投入処分した量	⑳自ら熱回収認定業者への処理委託量
⑯自ら中間処理した後自ら理立処分又は海洋投入処分した量	75.01	⑰自ら中間処理した後自ら理立処分又は海洋投入処分した量	⑳自ら熱回収認定業者への処理委託量
⑰自ら中間処理した後自ら理立処分又は海洋投入処分した量	75.01	⑱自ら中間処理した後自ら理立処分又は海洋投入処分した量	⑳自ら熱回収認定業者への処理委託量
⑲自ら中間処理した後自ら理立処分又は海洋投入処分した量	75.01	⑳自ら熱回収認定業者への処理委託量	⑳自ら熱回収認定業者への処理委託量
⑳自ら熱回収認定業者への処理委託量	75.01	⑳自ら熱回収認定業者への処理委託量	⑳自ら熱回収認定業者への処理委託量

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類: アス・コン) (単位:トン)	
不要物等発生量	有機物量	①	1,630.50
	自ら直接 再生利用した量	②	
	自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	③	
排出量	自ら中間処理した後 の廃さ量	④	
	自ら中間処理した量	⑤	
	自ら熱回収を行った量	⑥	
項目	実績値	⑦	
①排出量	1,630.50	⑧	
②+③自ら再生利用を行った量	0.00	⑨	
⑤自ら熱回収を行った量	0.00	⑩	
⑦自ら中間処理により減 量した量	0.00	⑪	
③+⑤自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00	⑫	
⑩全処理委託量	1,630.50	⑬	
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	0.00	⑭	
⑫再生利用業者への処 理委託量	1,630.50	⑮	
⑬熱回収認定業者への処 理委託量	0.00	⑯	
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	0.00		

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：その他がれき類)

(単位：トン)

有機物量	
------	--

不要物等発生量

自ら直接
再生利用した量

②

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑫

(第2面)

項目	実積値	
①排出量	7.03	
②+③自ら再生利用を行った量	0.00	
④自ら熱回収を行った量	0.00	
⑤自ら中間処理による減量した量	0.00	
⑥自ら中間処理した後 の残さ量	7.03	
⑦自ら埋立処分を行った量	0.00	
⑧自ら海洋投入処分を行った量	0.00	
⑨直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	7.03	
⑩全処理委託量	7.03	
⑪優良認定業者への 処理委託量	0.00	
⑫再生利用業者への処 理委託量	7.03	
⑬熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	0.00	
⑭優良認定 処理業者への 処理委託量	0.00	

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：建設混合廃棄物(安定型))

(単位:トン)

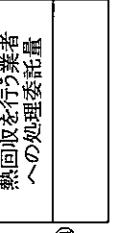
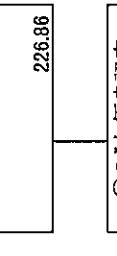
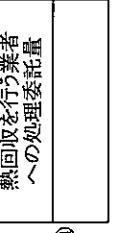
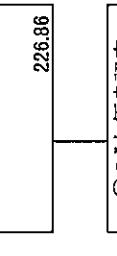
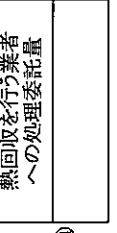
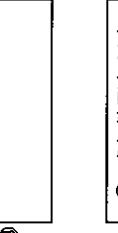
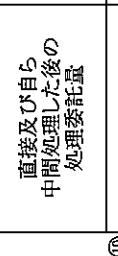
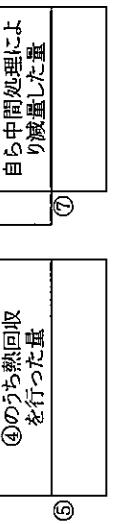
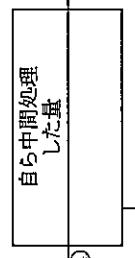
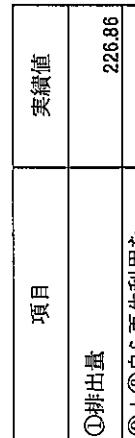
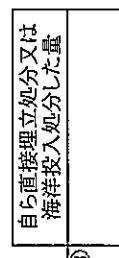
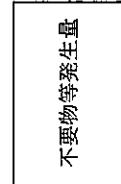
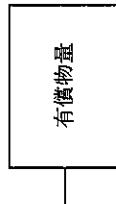
項目	実徴値	①排出量	②自ら直接再生利用した量	③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	④自ら中間処理した量	⑤④のうち熱回収を行った量	⑥自ら中間処理した後の残さ量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	⑨自ら中間処理した後海洋投入処分した量	⑩自ら中間処理した後自ら処理委託量	⑪⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑫⑪⑪のうち再生利用業者への処理委託量	⑬⑫⑫のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑭⑬⑬のうち優良認定業者への処理委託量	⑮⑭⑭のうち熱回収認定業者への処理委託量	
①排出量	1.20	① 1.20	② 0.00	③ 0.00	④ 0.00	⑤ 0.00	⑥ 1.20	⑦ 0.00	⑧ 0.00	⑨ 0.00	⑩ 1.20	⑪ 0.00	⑫ 1.20	⑬ 0.00	⑭ 0.00	⑮ 0.00	
②自ら直接再生利用した量																	
③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量																	
④自ら中間処理した量																	
⑤④のうち熱回収を行った量																	
⑥自ら中間処理した後の残さ量																	
⑦自ら中間処理により減量した量																	
⑧自ら中間処理した後再生利用した量																	
⑨自ら中間処理した後海洋投入処分した量																	
⑩自ら中間処理した後自ら処理委託量																	
⑪⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量																	
⑫⑪⑪のうち再生利用業者への処理委託量																	
⑬⑫⑫のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量																	
⑭⑬⑬のうち優良認定業者への処理委託量																	
⑮⑭⑭のうち熱回収認定業者への処理委託量																	

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：建設混合廃棄物(管理型))

(単位：トン)



(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 水銀使用製品)

(单位: t/s)

(第2面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理について、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令 第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。